

[ 声明 ] 有事関連 3 法案成立強行の暴挙に抗議し、

## 具体化をゆるさないたたかいを開始しよう

政府・与党と民主党・自由党は、国民に危険な本質を明らかにしないまま、6日の参議院本会議で有事3法案の採決を強行しました。この暴挙に、私たちは満身の怒りを込めて抗議するとともに、戦争への道を必ずくいとめる決意をあらためて固めるものです。

有事関連3法案は、アメリカの無法な戦争に参戦するため自衛隊の海外での武力行使に道を開き、国民を強制動員する憲法違反の大悪法です。そのために、この法案の危険性を知った広範な国民の声が広がり、アジア諸国からの懸念の声も高まっています。

いまアメリカは、イラク攻撃につづいて先制攻撃戦略にもとづく戦争を拡大しようとしています。世界ではこのアメリカの無法を許さず平和のルールをとりもどそうとする巨大な流れが広がっています。有事関連3法案は、この世界の流れに逆行するものです。

3法案の成立は強行されましたが、これを具体化するための米軍支援法案、「国民保護法案」など、有事法案の具体化とその発動を許さないたたかいはこれからです。成立した有事関連3法の内容と、政府がこれから整備しようとしている有事法制の全体像を福祉関係者や広く国民の中に徹底して知らせるために奮闘しましょう。子どもたちや高齢者、障害者と向き合い、「命」の尊さや重みを日々実感している私たち福祉労働者は、「最大の暴力」である戦争を否定し、何よりも「平和」な社会であることを望んでいます。

私たち福祉労働者は、戦後50年余、平和と民主主義を願う広範な国民の運動に結集し、日本が直接戦争に参加することを阻止してきました。今あらためて、憲法9条を守りぬき、日本を「戦争をしない、させない、加わらない国」としていくために、全力を尽くす決意を固めあおうではありませんか。

2003年6月9日

全国福祉保育労働組合